

第10回 川の自然と文化講演会

語り継ぐ

安曇野をめぐる水と暮らし

安曇野では、古くから犀川流域の豊かな水によって人々の暮らしが支えられてきました。川の存在、水の流れのもたらす恩恵を活かした人々の営みが、自然と融合・調和することで、独特な田園景観など、安曇野に特有の地域文化を作り上げてきました。



安曇野市豊科わさび田



ニセアカシア(外来植物)

本講演会では、2題の講演を予定しています。

1題目は、安曇野において河川と人との関わりから生まれてきた文化について、古道や橋との関わりに視点をあててお話いただきます。もう1題は、同じく河川と人との関わりの中で、河川に見られる植物がどのように移り変わってきたのか、河川の外来植物をテーマとしてご講演いただきます。

〈演題・講師〉

『道と川、そして橋がつなぐ文化』

笹本 正治氏 (信州大学副学長)

『犀川の外来植物の変遷』

横内 文人氏 (長野県植物研究会)

- 期 日 平成27年 7月18日(土) 参加費無料
事前申し込みは不要です
- 時 間 午後1:30 ~ 午後5:00 (午後1:00受付開始)
- 会 場 安曇野市 豊科交流学習センター きぼう 多目的交流ホール
- 主 催 NPO法人 川の自然と文化研究所
- 後 援 (予定) 安曇野市 / 安曇野市教育委員会 / 松本市 / 松本市教育委員会 / 信州大学 / 安曇野環境市民ネットワーク / 市民タイムス

~お問い合わせ~

NPO法人 川の自然と文化研究所 事務局 講演会担当 / 松本
TEL 0263-72-3768 メールアドレス m-info@srncf.org